

交付運用報告書

GCIエンダウメント ファンド (成長型／安定型)

追加型投信／内外／資産複合

第3期<決算日 2018年9月25日>

作成対象期間：2017年9月26日～2018年9月25日

成長型

第3期 (2018年9月25日)	
基準価額	12,444円
純資産総額	3,747百万円
騰落率	9.3%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

安定型

第3期 (2018年9月25日)	
基準価額	11,565円
純資産総額	4,672百万円
騰落率	6.7%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

当ファンドは、信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の方法により閲覧、ダウンロードすることができます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセスし、「ファンド」から当ファンドの詳細ページを表示させ、当該ページから運用報告書（全体版）を閲覧及びダウンロードすることができます。

なお、運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「GCIエンダウメントファンド（成長型／安定型）」は、2018年9月25日に第3期の決算を行いました。

当ファンドは、投資対象ファンド（投資信託証券）を通じて先進国、新興国を含む世界各国の株式、債券、REIT等に分散投資することで、グローバルな経済成長に沿った収益の獲得を目指します。また、グローバル分散投資によりポートフォリオのリスク低減を図ることとしており、かかる投資方針に沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

株式会社GCIアセット・マネジメント

東京都千代田区西神田3-8-1

お問い合わせ先（投資信託事業グループ）

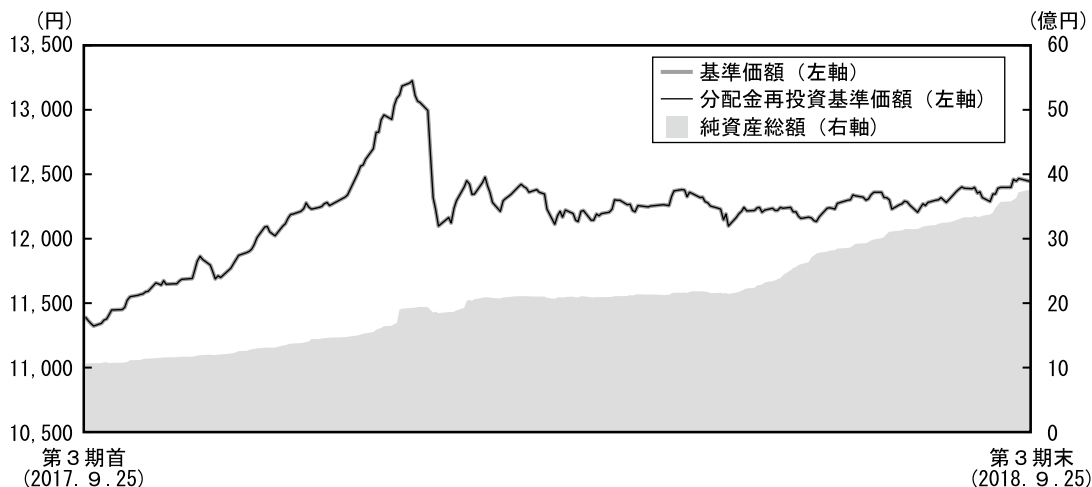
TEL：03-3556-5040（営業日の9:00～17:00）

URL：<https://www.gci.jp>

運用経過

（成長型）

■基準価額等の推移



第3期首：11,386円

第3期末：12,444円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：9.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、それぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

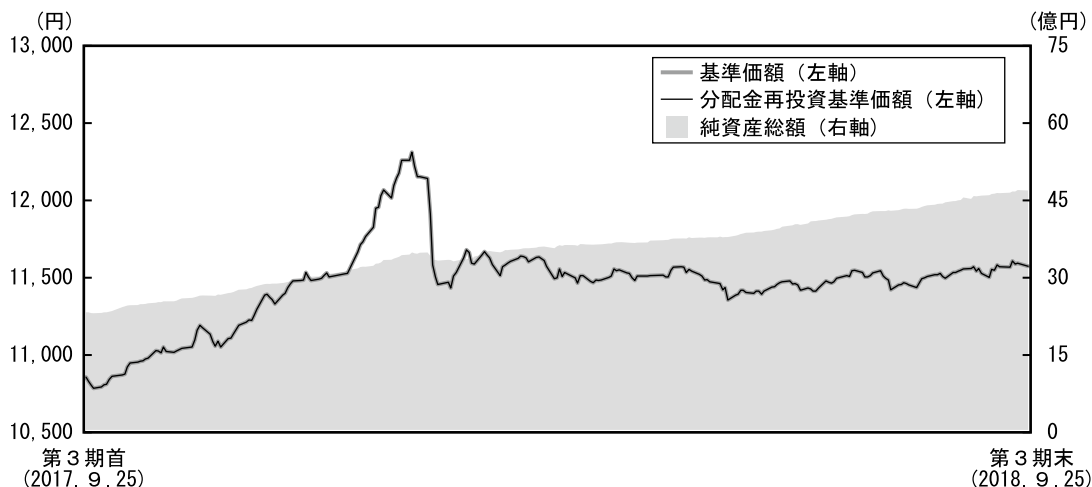
GCIエンダウメントファンド（成長型）の基準価額は堅調に推移し、当期間のリターンは+9.3%となりました。

当期初から2017年末にかけては、株式市場が非常に好調で、金利も比較的安定して推移したことから、当ファンドの基準価額は非常に順調に上昇しました。当ファンドが特徴としているオルタナティブ投資も、この期間にトレンドを伴って上昇した米国株のロングポジションから高いリターンを上げました。しかし、2018年2月に米国で物価上昇や財政悪化への懸念から投資家のリスク回避的な動きが出ると、長期金利が急上昇するとともに株式市場が急反落し、当ファンドの保有する伝統資産のポジションとオルタナティブ投資の双方がマイナスとなりました。しかしながらこれによる基準価額の下落幅は、直前までの上昇幅に比べて限定的となり、当期間を通じては堅調なパフォーマンスとなりました。

詳しくは「投資環境」をご参照ください。

（安定型）

■基準価額等の推移



第3期首：10,839円

第3期末：11,565円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：6.7%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、それぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

GCIエンダウメントファンド（安定型）の基準価額は堅調に推移し、当期間のリターンは+6.7%となりました。

当期初から2017年末にかけては、株式市場が非常に好調で、金利も比較的安定して推移したことから、当ファンドの基準価額は非常に順調に上昇しました。当ファンドが特徴としているオルタナティブ投資も、この期間にトレンドを伴って上昇した米国株のロングポジションから高いリターンを上げました。しかし、2018年2月に米国で物価上昇や財政悪化への懸念から投資家のリスク回避的な動きが出ると、長期金利が急上昇するとともに株式市場が急反落し、当ファンドの保有する伝統資産のポジションとオルタナティブ投資の双方がマイナスとなりました。しかしながらこれによる基準価額の下落幅は、直前までの上昇幅に比べて限定的となり、当期間を通じては堅調なパフォーマンスとなりました。

詳しくは「投資環境」をご参照ください。

■ 1万口当たりの費用明細 （成長型）

項目	第3期		項目の概要
	2017年9月26日～2018年9月25日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	88円	0.724%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 当期中の平均基準価額は12,203円です。
(投信会社)	(41)	(0.334)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(41)	(0.334)	交付運用報告書等の各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(7)	(0.056)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.048	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 ×10,000
(投資信託受益証券)	(6)	(0.048)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	4	0.029	(c) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数×10,000
(保管費用)	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び 資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(3)	(0.022)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要するその他の費用
合計	98	0.801	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資対象ファンド（投資信託証券）（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。当該投資対象ファンドの直近の計算期末時点における費用明細が取得できるものについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」に表示することとしています。

(注) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（安定型）

項目	第3期		項目の概要
	2017年9月26日～2018年9月25日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	82円	0.714%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 当期中の平均基準価額は11,451円です。
(投信会社)	(38)	(0.330)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(38)	(0.330)	交付運用報告書等の各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.031	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 ×10,000
(投資信託受益証券)	(4)	(0.031)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	2	0.019	(c) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数×10,000
(保管費用)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び 資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.013)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要するその他の費用
合計	87	0.763	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

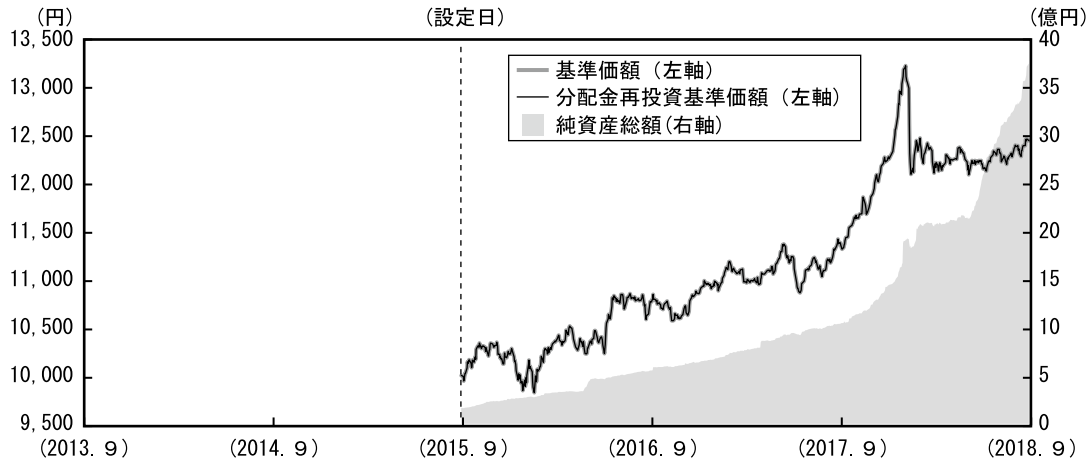
(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資対象ファンド（投資信託証券）（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。当該投資対象ファンドの直近の計算期末時点における費用明細が取得できるものについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」に表示することとしています。

(注) 「比率」欄は、1万円当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■最近5年間の基準価額等の推移 （成長型）

（2013年9月25日～2018年9月25日）



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を再投資したもとして計算しています。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、分配金再投資基準価額は一律にそれぞれの受益者の損益状況を示すものではありませんので、ご注意ください。

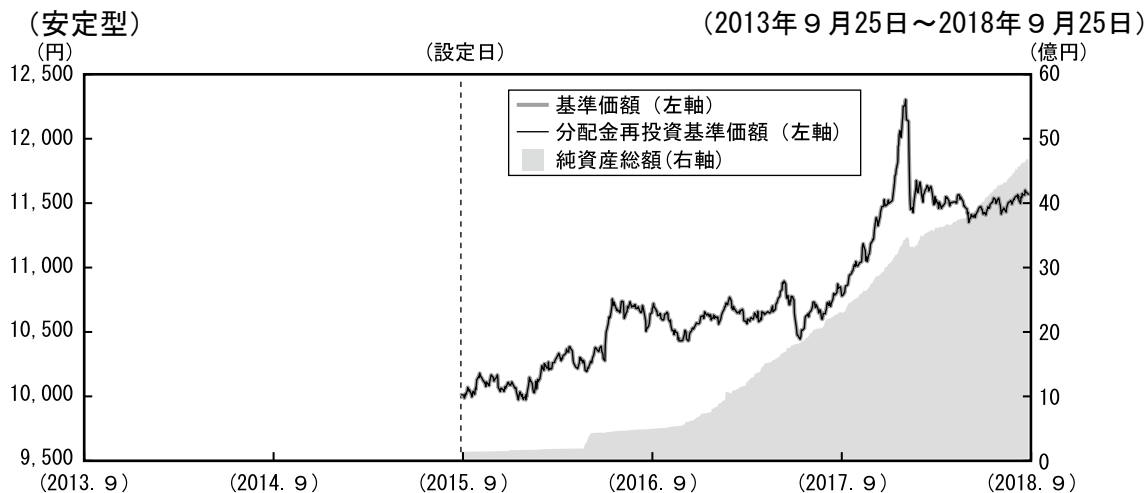
(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

	2015年9月25日 設定日	2016年9月26日 決算日	2017年9月25日 決算日	2018年9月25日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,767	11,386	12,444
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	7.7	5.7	9.3
純資産総額 (百万円)	163	554	1,040	3,747

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を再投資したもとして計算しています。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、分配金再投資基準価額は一律にそれぞれの受益者の損益状況を示すものではありませんので、ご注意ください。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

	2015年9月25日 設定日	2016年9月26日 決算日	2017年9月25日 決算日	2018年9月25日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,637	10,839	11,565
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	6.4	1.9	6.7
純資産総額 (百万円)	108	464	2,287	4,672

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

（成長型）／（安定型）

■投資環境

【先進国株式】

先進国の株式市場は上昇しました。2017年後半から2018年1月にかけては、トランプ大統領の税制改革政策への期待や各国の好調な企業業績等を受け、株式市場は非常に好調に上昇しました。2018年2月には、米国の物価上昇や財政悪化への警戒感から急落する局面がありましたが、その後は米中貿易摩擦への懸念やトルコ情勢の緊迫化といった悪材料をこなしつつも、株式市場は総じて堅調に推移しました。

【新興国株式】

新興国の株式市場は下落しました。2017年中は先進国の金利が比較的安定して推移する中、先進国株式市場の好調さに追随する形で新興国株式市場も上昇基調となりました。しかし2018年2月に米国金利が急上昇し、その後も上昇基調となると、新興国株式市場からの資金流出が加速し、当期間を通じては下落となりました。

【先進国債券】

先進国債券は2017年中は比較的安定して推移しましたが、2017年末頃からECBの金融緩和縮小観測等を受けて下落基調となり、2018年2月には米国の物価上昇や財政悪化への懸念からリスク回避的姿勢が強まり、急落しました。その後も景気が順調な米国ではFRBが段階的な利上げを続け、米国債は一貫して下落傾向となりました。米国を除く先進国債券は局面によって上下しましたが、当期間を通じては下落となりました。

【REIT市場】

REIT市場はまちまちの展開となりました。米国では、景気が好調だったものの、2018年の年初以降、長期金利が上昇を続けたことを受け、REIT市場は軟調に推移しました。日本でも長期金利が上昇しましたが、日銀の金融緩和策が継続する中比較的小幅な上昇に留まったことや、株式市場が堅調に推移したことを受け、REIT市場は上昇しました。

【オルタナティブ】

当期間を通しては、ヘッジファンドのパフォーマンスは堅調でした。ヘッジファンド市場の値動きを示す、HFRX Global Hedge Fund Indexは当期の始めから2018年1月にかけて大きく上昇しました。2018年2月になると市場の変調から急落し、その後も緩やかに下落基調となりましたが、2017年中の上昇と比較すれば小幅な下落に留まり、当期間はプラスのリターンとなりました。当ファンドの投資対象であるGCIシステマティック・マクロファンドは、2018年2月に大きなドローダウンに見舞われたものの、2018年1月までの上昇と比較して下落幅は限定的となり、6月以降は再び上昇基調に転じました。

【為替相場】

円相場は、2018年1月～3月に投資家のリスク回避姿勢が強まったことにより、対ドルで大きく円高方向に動きました。しかしその後、米国の長期金利が堅調に上昇したことを受けて再び円安基調となり、当期間を通じてはほぼ横ばいとなりました。当ファンドは為替リスクをヘッジしているため、これによる影響は限定的です。

**■当該投資信託のポートフォリオ
（成長型）**

主として、各国のETFとヘッジファンド（GCIシステムティック・マクロファンド Vol 10 クラスA）に投資しており、当期初に定めた目標配分比率に従って運用を行いました。この目標配分比率は長期間にわたるすばらしい運用実績を残してきたエンダウメント（大学財団）型の投資戦略をお手本に定め、オルタナティブ投資を積極的に活用しつつ、リスクとリターンの源泉を分散・多様化するとともに運用コストにも注意を払い、運用資産の長期的成長を効率的に目指しています。

当期はポートフォリオ構成の単純化を目的として、オルタナティブ投資の対象をGCIシステムティック・マクロファンド Vol 25 クラスAからGCIシステムティック・マクロファンド Vol 10 クラスAに変更しました。両ファンドはボラティリティ水準が異なるものの実質的な運用内容は同一です。当変更の際してファンドに手数料等の追加負担は発生しておらず、変更によるパフォーマンスへの影響は軽微となっています。

組入ファンドの当期末時点における組入比率については、後掲の「当該投資信託のデータ」の「当該投資信託の組入資産の内容」をご参照ください。

（安定型）

主として、各国のETFとヘッジファンド（GCIシステムティック・マクロファンド Vol 10 クラスA）に投資しており、期初に定めた目標配分比率に従って運用を行いました。この目標配分比率は長期間にわたるすばらしい運用実績を残してきたエンダウメント（大学財団）型の投資戦略をお手本に定め、オルタナティブ投資を積極的に活用しつつ、リスクとリターンの源泉を分散・多様化するとともに運用コストにも注意を払い、運用資産の長期的成長を効率的に目指しています。

当期は、ポートフォリオ構成の単純化を目的として、オルタナティブ投資の対象をGCIシステムティック・マクロファンド Vol 25 クラスAからGCIシステムティック・マクロファンド Vol 10 クラスAに変更しました。両ファンドは、ボラティリティ水準が異なるものの実質的な運用内容は同一です。当変更の際してファンドに手数料等の追加負担は発生しておらず、変更によるパフォーマンスへの影響は軽微となっています。

組入ファンドの当期末時点における組入比率については、後掲の「当該投資信託のデータ」の「当該投資信託の組入資産の内容」をご参照ください。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

（成長型）／（安定型）

各ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■分配金

（成長型）

収益分配金については、基準価額水準、市況動向等を勧案して分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳】

（単位：1万口当たり・税引前）

項目	第3期	
	2017年9月26日～2018年9月25日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,444

（注）「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てているため、当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（安定型）

収益分配金については、基準価額水準、市況動向等を勧案して分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳】

（単位：1万口当たり・税引前）

項目	第3期	
	2017年9月26日～2018年9月25日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,564

（注）「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てているため、当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

（成長型）／（安定型）

当ファンドの決算日である2018年9月25日に、一年に一度の基本資産配分（ターゲット・ポートフォリオ）の見直しを行いました。その前提となるビッグ・ピクチャーは、10年程度の時間軸でマクロ環境を俯瞰したのですが、次の通り変更ありません。

第一に、21世紀直前に本格化したグローバル化という世界史的イベントに伴い、ディスインフレ環境が続いています。グローバル化の恩恵を最大限に享受してきた新興国経済の急成長が成熟してきたこともあり、このディスインフレ環境は長期化するものと考えています。

第二に、新興国圏の成長速度が大きく鈍化した結果、先進国圏と新興国圏の乖離（デカップリング）が金融市場に影響を与える可能性があります。とくに、米国経済が相対的に好調であるとのコンセンサスの下、2014年からドル高基調が続いています。ドル高は、新興国経済にとっては逆風です。1997年のアジア通貨危機がその典型例です。依然として底堅い中国経済ですが、景気循環や人口動態など国内固有の要因に加えて、ドル高という負荷が二重にかかると考えています。

以上の10年単位のビッグ・ピクチャー自体は今回も不変ですが、中期的には、2008年の金融危機以降一貫して続いてきた主要国中央銀行の金融政策の変化に注目しています。2009年以降、債券・株式を含むほとんどの資産価格が上昇し続ける特異な環境でしたが、市場に供給された潤沢な資本が吸収される過程で、どのような影響があるのか注視しています。以上のビッグ・ピクチャーをもとに、調整局面の到来に備えて慎重姿勢としてきた基本資産配分を変更せず、引き続き維持いたします。

オルタナティブ投資を得意とする当社の認識では、世界中の利回りが低下し、信用スプレッドがつぶれ、実物など低流動性資産にも大量の資本が向かった結果、流動性プレミアムも失われました。2017年春以降はボラティリティも過去経験したことのない水準まで下落し、基調としては低迷しています。常識的には、大きな反動・調整が入ってもおかしくありません。

一方、情報技術革新の大波はグローバルな実態経済に大きなインパクトを与えようとしています。高値圏を更新している米国株式市場のバリュエーションに対しては警戒感も根強いのですが、こうした警戒感が払拭されるような株高に対する肯定的センチメントが醸成されない限り、むしろ循環的な株高が継続するのかもしれない。

当戦略は、どのような市場環境であっても、下落リスクを想定の範囲内に抑制し、資産価値の保全を最優先しながら、長期的安定的な成長を目指してまいります。

お知らせ

（成長型）／（安定型）

◇約款変更

- ・投資対象とする投資信託証券の名称変更及び投資信託証券を追加するため、所要の変更を行いました。（変更日：2018年5月31日）
- ・既存の外国籍投信の償還に伴い、投資対象とする投資信託証券を一部削除するため、所要の変更を行いました。（変更日：2018年7月1日）
- ・電子公告のアドレスを変更するため、所要の変更を行いました。（変更日：2018年9月20日）

◇運用体制の変更

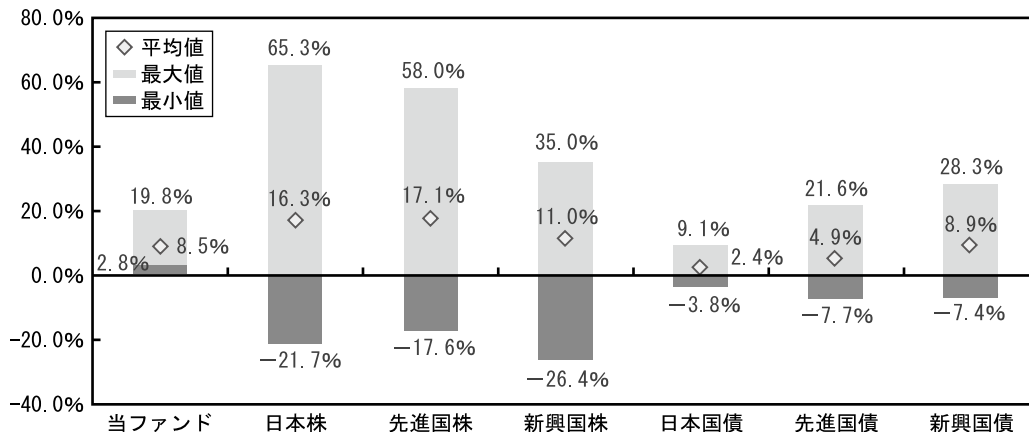
該当事項はありません。

当該投資信託の概要

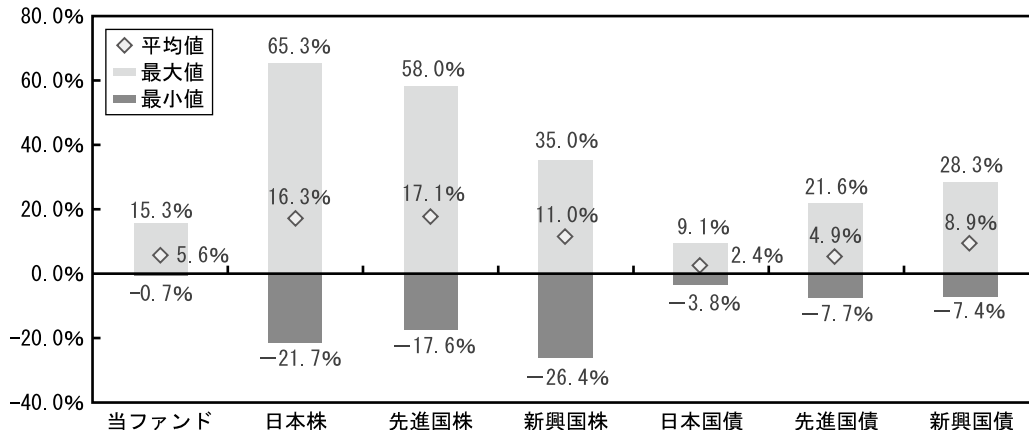
商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として無期限（2015年9月25日設定）	
運用方針	成長型	投資資産のうちリスク資産のウエイトを増やしつつ、伝統的資産に加えてオルタナティブ資産・戦略を活用して分散されたポートフォリオを構築し、信託財産の長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。
	安定型	投資資産のうちリスク資産のウエイトを抑制しつつ、伝統的資産に加えてオルタナティブ資産・戦略を活用して分散されたポートフォリオを構築し、信託財産の長期的な成長を目指して安定的な運用を行います。
主要投資対象	<p>以下の投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOPIX連動型上場投資信託 ・ バンガード・S&P500 ETF ・ バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF ・ バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF ・ バンガード・米国トータル債券市場ETF ・ バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり） ・ NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信 ・ バンガード・リアル・エステート ETF ・ GCIシステムティック・マクロファンド Vol 10 クラスA ・ GCIマネープールマザーファンド 	
運用方法	投資対象ファンド（投資信託証券）を通じて先進国、新興国を含む世界各国の株式、債券、REIT等に分散投資することで、グローバルな経済成長に沿った収益の獲得を目指します。また、グローバル分散投資によりポートフォリオのリスク低減を図ります。	
分配方針	<p>年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>※将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

（成長型）



（安定型）



期間：2013年9月～2018年8月

(注) 当ファンドについては2016年9月～2018年8月の2年間、代表的な資産クラスについては2013年9月～2018年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。なお、すべての代表的な資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<代表的な各資産クラスの指数>

日本株：Morningstar 日本株式(グロス・リターン)
 先進国株：Morningstar 先進国株式(除く日本、グロス・リターン)
 新興国株：Morningstar 新興国株式(グロス・リターン)
 日本国債：Morningstar 日本国債(トータル・リターン)
 先進国債：Morningstar グローバル国債(トータル・リターン)
 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債(トータル・リターン)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

<各インデックスの成立ち・計算方法等の概要説明>

日本株：Morningstar 日本株式(グロス・リターン)
 Morningstar, Inc. が発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
 先進国株：Morningstar 先進国株式(除く日本、グロス・リターン)
 Morningstar, Inc. が発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。
 新興国株：Morningstar 新興国株式(グロス・リターン)
 Morningstar, Inc. が発表している配当込み株価指数で、世界の新興国で構成されています。
 日本国債：Morningstar 日本国債(トータル・リターン)
 Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
 先進国債：Morningstar グローバル国債(トータル・リターン)
 Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債(トータル・リターン)
 Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

<重要事項>

GCIエンダウメントファンド（成長型／安定型）（以下、「当ファンド」といいます）は、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc. の関連会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または一般的な内外の株式・債券・REIT市場の騰落率と連動するMorningstarインデックスの能力について、当ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。株式会社GCIアセット・マネジメントとMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」といいます）の使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが株式会社GCIアセット・マネジメント又は当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、株式会社GCIアセット・マネジメント又は当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額及び設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、株式会社GCIアセット・マネジメント及び当ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

（成長型）

◇組入ファンド等

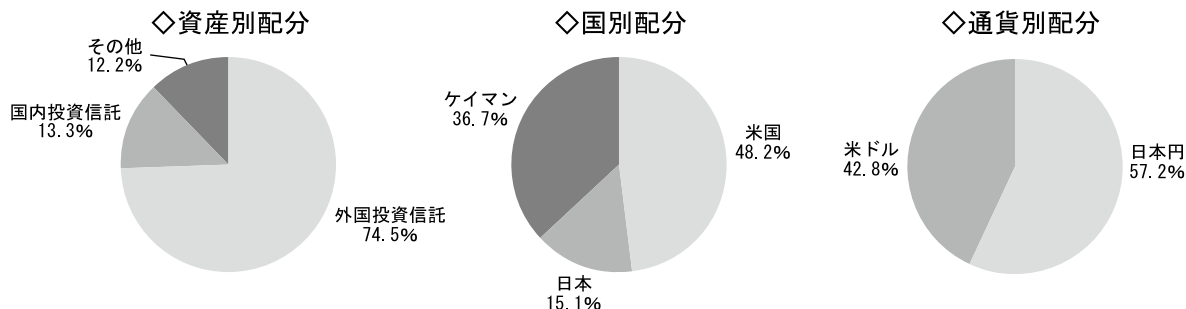
（組入銘柄数：9銘柄）

	第3期末 (2018年9月25日)
GCIシステマティック・マクロファンド Vol 10 クラスA	32.2%
バンガード・S&P500 ETF	15.6%
バンガード・米国トータル債券市場ETF	10.8%
TOPIX連動型上場投資信託	9.1%
バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）	5.2%
バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF	4.4%
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	4.3%
バンガード・リアル・エステート ETF	4.2%
バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF	2.1%
その他	12.1%

（注）組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する各組入ファンドの評価額の比率です。

（注）上位3ファンドについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」をご参照ください。

（注）その他は現金・未払金等です。



（注）資産別・通貨別配分の比率は当ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

（注）国別配分は、国・地域別による配分です。

（注）資産別配分について、キャッシュ等については「その他」に含めております。

■純資産等

項目	第3期末 2018年9月25日
純資産総額	3,747,746,603円
受益権総口数	3,011,641,693口
1万口当たり基準価額	12,444円

（注）当期中における追加設定元本額は2,414,672,822円、期中一部解約元本額は316,799,421円です。

■組入上位ファンドの概要

（成長型）

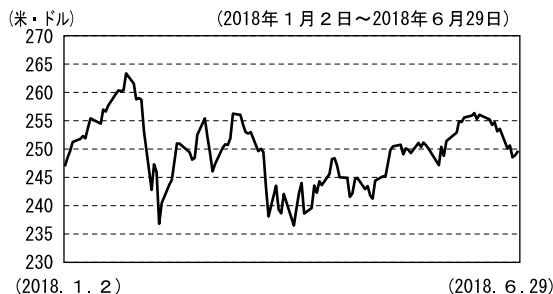
《GCIシステマティック・マクロファンド Vol 10 クラスA》

当期末現在、初回決算（2019年5月31日）を迎えていないため、開示できる資料はありません。

■組入上位ファンドの概要 （成長型）

《バンガード・S&P500 ETF》

◇基準価額の推移



◇費用明細

(2018年1月2日～2018年6月29日)

項目	比率
経費率（エクスペンス・レシオ）	0.04%

※一万口当たりの費用明細の情報が取得できないため、経費率（エクスペンス・レシオ）を記載しています。経費率とは、ファンドの平均資産残高に対する費用その他の経費の比率（%）です。経費率は、ファンドの決算ごとに見直され、変動します。

◇組入上位10銘柄

2018年6月29日

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	APPLE INC	株式	米ドル	3.9
2	MICROSOFT CORP	株式	米ドル	3.3
3	AMAZON.COM INC	株式	米ドル	3.0
4	FACEBOOK INC-A	株式	米ドル	2.0
5	JPMORGAN CHASE	株式	米ドル	1.5
6	EXXON MOBIL CORP	株式	米ドル	1.5
7	BERKSHIRE HATH-B	株式	米ドル	1.5
8	ALPHABET INC-C	株式	米ドル	1.5
9	ALPHABET INC-A	株式	米ドル	1.5
10	JOHNSON&JOHNSON	株式	米ドル	1.4
組入銘柄数				509銘柄

◇資産別配分



株式
100.0%

◇国別配分



米国
100.0%

◇通貨別配分



米ドル
100.0%

(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間（中間計算期間を含む）のものです。

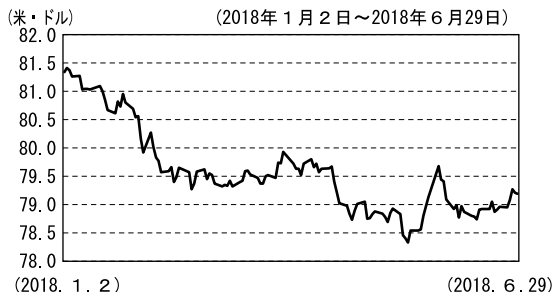
(注) 組入上位10銘柄、費用明細、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日（中間決算日を含む）現在のものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

■組入上位ファンドの概要 （成長型）

《バンガード・米国トータル債券市場ETF》

◇基準価額の推移



◇費用明細

(2018年1月2日～2018年6月29日)

項目	比率
経費率（エクスペンス・レシオ）	0.05%

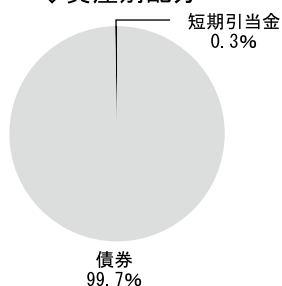
※一万口当たりの費用明細の情報が取得できないため、経費率（エクスペンス・レシオ）を記載しています。経費率とは、ファンドの平均資産残高に対する費用その他の経費の比率（%）です。経費率は、ファンドの決算ごとに見直され、変動します。

◇組入上位10銘柄

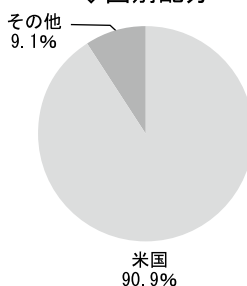
2018年6月29日

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	Federal National Mortgage Assn. 3.5% 10/01/2018-08/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	2.8
2	Government National Mortgage Assn. 3.5% 09/20/2025-07/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	2.6
3	Federal National Mortgage Assn. 3% 09/01/2020-02/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	2.2
4	Federal National Mortgage Assn. 4% 07/01/2018-07/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	2.0
5	Federal Home Loan Mortgage Corp. 3.5% 09/01/2020-07/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	1.9
6	Government National Mortgage Assn. 3% 01/15/2026-07/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	1.6
7	Federal Home Loan Mortgage Corp. 3% 03/01/2021-01/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	1.6
8	Government National Mortgage Assn. 4% 08/15/2018-05/20/2048	モーゲージ証券	米ドル	1.4
9	Federal Home Loan Mortgage Corp. 4% 07/01/2018-07/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	1.2
10	Federal National Mortgage Assn. 4.5% 07/01/2018-07/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	0.8
組入銘柄数				8,557銘柄

◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間（中間計算期間を含む）のものです。

(注) 組入上位10銘柄、費用明細、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日（中間決算日を含む）現在のものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分の比率は、組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

（安定型）

◇組入ファンド等

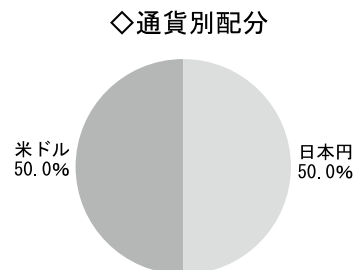
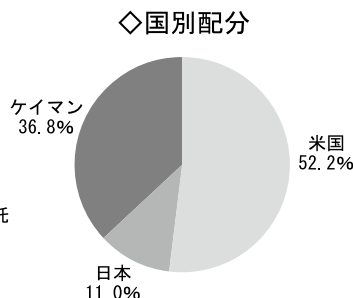
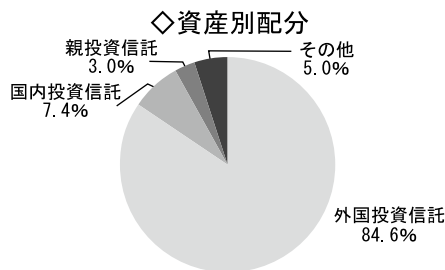
（組入銘柄数：9銘柄）

	第3期末 (2018年9月25日)
GCIシステマティック・マクロファンド Vol 10 クラスA	34.9%
バンガード・米国トータル債券市場ETF	24.1%
バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF (米ドルヘッジあり)	13.1%
バンガード・S&P500 ETF	7.5%
TOPIX連動型上場投資信託	5.1%
GCIマネープールマザーファンド	3.0%
バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF	2.5%
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	2.4%
バンガード・リアル・エステート ETF	2.4%
その他	5.0%

（注）組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する各組入ファンドの評価額の比率です。

（注）上位3ファンドについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」をご参照ください。

（注）その他は現金・未払金等です。



（注）資産別・通貨別配分の比率は当ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

（注）国別配分は、国・地域別による配分です。

（注）資産別配分について、キャッシュ等については「その他」に含めております。

■純資産等

項目	第3期末 2018年9月25日
純資産総額	4,672,148,584円
受益権総口数	4,039,930,491口
1万口当たり基準価額	11,565円

（注）当期中における追加設定元本額は2,282,968,253円、期中一部解約元本額は353,790,074円です。

■組入上位ファンドの概要
（安定型）

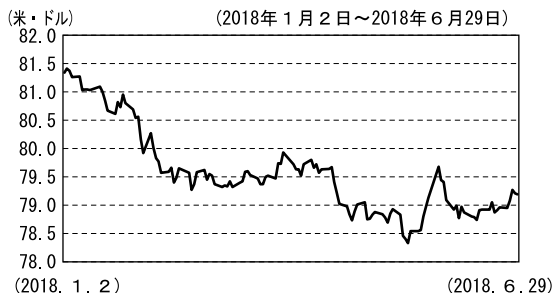
《GCIシステマティック・マクロファンド Vol 10 クラスA》

初回決算（2019年5月31日）を迎えていないため、開示できる資料はありません。

■組入上位ファンドの概要 （安定型）

《バンガード・米国トータル債券市場ETF》

◇基準価額の推移



◇費用明細

(2018年1月2日～2018年6月29日)

項目	比率
経費率（エクスペンス・レシオ）	0.05%

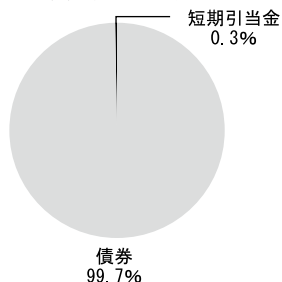
※一万口当たりの費用明細の情報が取得できないため、経費率（エクスペンス・レシオ）を記載しています。経費率は、ファンドの平均資産残高に対する費用その他の経費の比率（%）です。経費率は、ファンドの決算ごとに見直され、変動します。

◇組入上位10銘柄

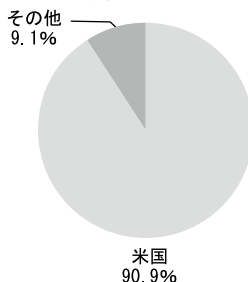
2018年6月29日

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	Federal National Mortgage Assn. 3.5% 10/01/2018-08/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	2.8
2	Government National Mortgage Assn. 3.5% 09/20/2025-07/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	2.6
3	Federal National Mortgage Assn. 3% 09/01/2020-02/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	2.2
4	Federal National Mortgage Assn. 4% 07/01/2018-07/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	2.0
5	Federal Home Loan Mortgage Corp. 3.5% 09/01/2020-07/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	1.9
6	Government National Mortgage Assn. 3% 01/15/2026-07/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	1.6
7	Federal Home Loan Mortgage Corp. 3% 03/01/2021-01/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	1.6
8	Government National Mortgage Assn. 4% 08/15/2018-05/20/2048	モーゲージ証券	米ドル	1.4
9	Federal Home Loan Mortgage Corp. 4% 07/01/2018-07/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	1.2
10	Federal National Mortgage Assn. 4.5% 07/01/2018-07/01/2048	モーゲージ証券	米ドル	0.8
組入銘柄数				8,557銘柄

◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間（中間計算期間を含む）のものであります。

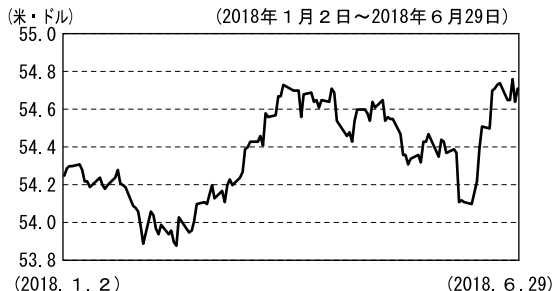
(注) 組入上位10銘柄、費用明細、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日（中間決算日を含む）現在のものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分の比率は、組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

■組入上位ファンドの概要 （安定型）

《バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）》

◇基準価額の推移



◇費用明細

(2018年1月2日～2018年6月29日)

項目	比率
経費率（エクスペンス・レシオ）	0.11%

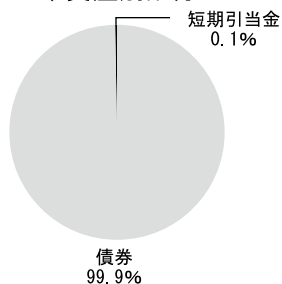
※一万口当たりの費用明細の情報が取得できないため、経費率（エクスペンス・レシオ）を記載しています。経費率とは、ファンドの平均資産残高に対する費用その他の経費の比率（%）です。経費率は、ファンドの決算ごとに見直され、変動します。

◇組入上位10銘柄

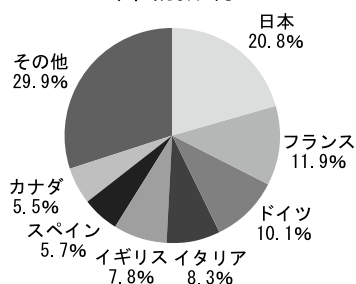
2018年6月29日

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	FRANCE O. A. T. 1% 05/25/2027	債券	ユーロ	0.7
2	JAPAN GOVT 5-YR 0.1% 06/20/2022	債券	日本円	0.6
3	JAPAN GOVT 5-YR 0.1% 09/20/2021	債券	日本円	0.5
4	JAPAN GOVT 5-YR 0.1% 06/20/2021	債券	日本円	0.5
5	JAPAN GOVT 2-YR 0.1% 02/15/2020	債券	日本円	0.4
6	FRANCE O. A. T. 0.25% 11/25/2020	債券	ユーロ	0.4
7	DEUTSCHLAND REP 0.5% 02/15/2028	債券	ユーロ	0.4
8	SPANISH GOV' T 4% 04/30/2020	債券	ユーロ	0.4
9	JAPAN GOVT 5-YR 0.1% 09/20/2022	債券	日本円	0.4
10	DEUTSCHLAND REP 1.5% 05/15/2024	債券	ユーロ	0.4
組入銘柄数				4,871銘柄

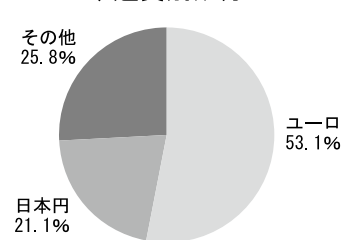
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間（中間計算期間を含む）のもので。

(注) 組入上位10銘柄、費用明細、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日（中間決算日を含む）現在のものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分の比率は、組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。